



平成 25 年 12 月 12 日

各 位

会社名 巴工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 塩野 昇
(コード番号 6309 東証第一部)
問合せ先 経理担当取締役 松本光央
(TEL 03-5435-6512)

中期経営計画（平成 25 年 11 月～平成 28 年 10 月）の策定について

～更なる成長と飛躍に挑戦～

当社は、このたび平成 25 年 11 月からの 3 年間を対象とする第 10 回中期経営計画「Target 2016」を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 基本方針

内外経済が緩やかながら改善に向かいつつある中、本中期経営計画では、前回の中期経営計画で掲げた「持続的な事業の成長」をコンセプトとして継承しつつ、経営基盤の一層の強化を図るとともに種々の課題に積極的に取り組み、「更なる成長と飛躍に挑戦して行く」ことを基本方針とします。

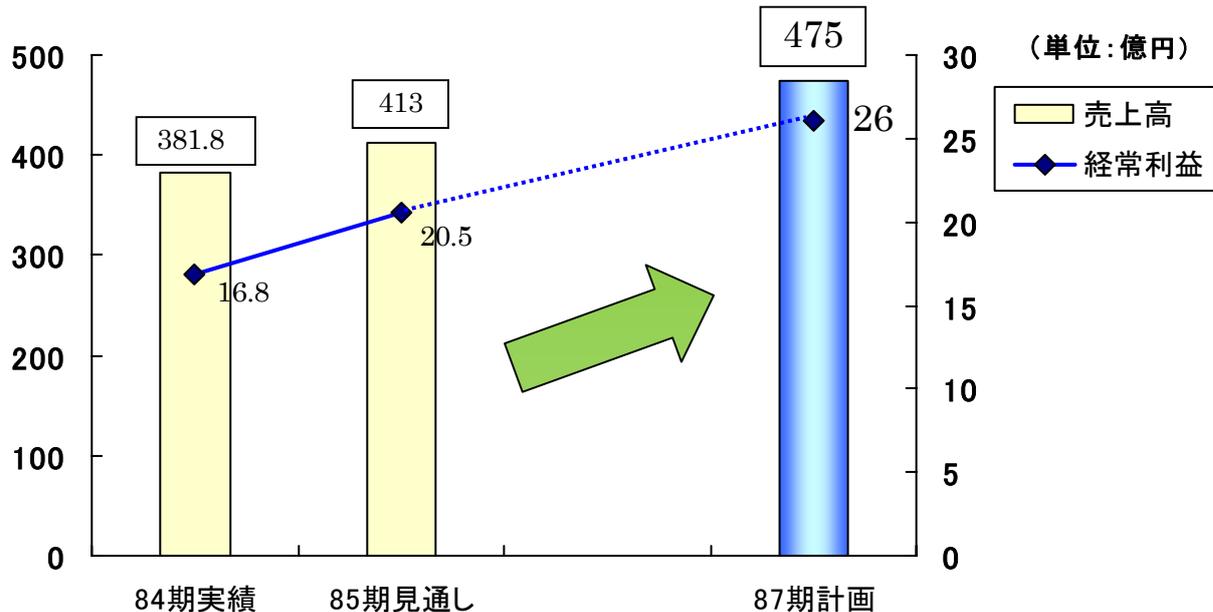
- ・機械事業では、北南米市場、東南アジア市場を中心とする海外売上高の拡大と低動力省エネ型遠心分離機の国内官需向け拡販のほか、民需向けインフラ事業、食品分野への販売強化を主な戦略とします。
- ・化学品事業では、成長が期待される東南アジアを中心とする海外売上高の拡大と新規サプライヤー開拓による新商材の開発および新規顧客の開拓を主な戦略とします。
- ・これにより、最終年度となる平成 28 年 10 月期（第 87 期）の連結売上高を 475 億円以上、同経常利益を 26 億円以上とし、本中期経営計画を「Target 2016」と称して推進して参ります。

2. 業績計画

(単位：億円)

	第84期実績				第87期計画		
	機	械	化学品		合	計	
売上高	93.2	288.6	381.8	147.0	328.0	475.0	
営業利益	5.3	9.9	15.2	13.4	12.4	25.8	
経常利益	—	—	16.8	—	—	26.0	
当期純利益	—	—	8.4	—	—	16.0	
ROE (%)	—	—	3.7	—	—	6.3	
ROA (%)	—	—	2.5	—	—	4.4	

売上高・経常利益推移



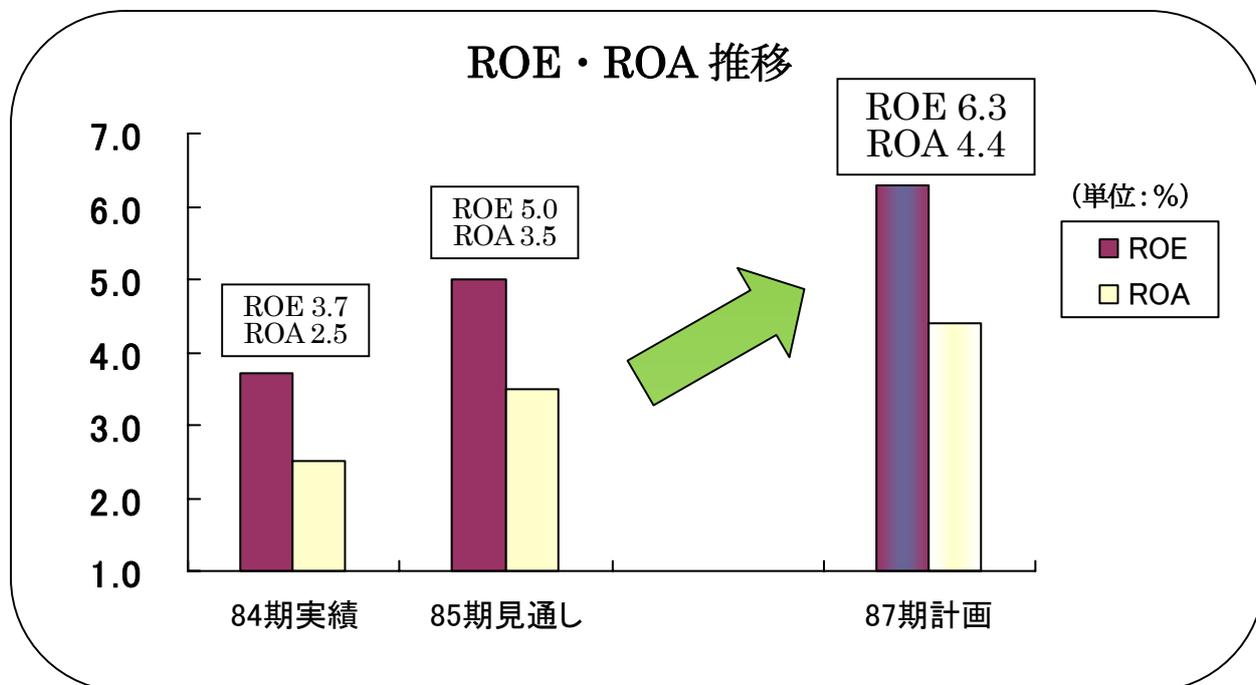
3. 具体的施策

- (1) 北南米市場、東南アジア市場を中心とした事業展開に注力し、グローバル化を推進します。
 - ・機械事業については、第84期に設立した現地法人 Tomoe Engineering USA を軸に油井向けのみならず石油化学、食品分野などの成長が期待できる分野に販路を広げ、北南米ビジネスの拡大を図ります。また、東南アジアを中心に販売力、開拓力を有する代理店を本格稼働させ、これを有効活用することにより商圏拡大に繋がります。
 - ・化学品事業については、成長が見込まれる東南アジアを中心に新規市場や商材開発を目指した営業展開を図り事業拡大に繋がります。また、中国深圳事業に関しては、汎用樹脂とエンブラを中心としたコンパウンド事業に特化し、既存顧客の維持・継続に加えて新規顧客の獲得に注力します。
- (2) 経営資源の有効活用を追求し、事業の選択と集中を推進します。

市場分析を通じ市場毎の成長性を見極めた上で、これに対応した効率的なリソースの投入を行う一方、収益性・成長性が乏しい事業分野については縮小等の手段を講じるなど、メリハリのある事業運営を行って参ります。
- (3) 環境・エネルギー関連事業への取り組みを強化します。
 - ・機械事業については、低動力省エネ型遠心分離機の一段の拡販と太陽電池製造工程向け砥粒回収装置の売上拡大に加えて、エネルギー分野等への参入を目指します。
 - ・化学品事業については、二次電池、パワー半導体向け商材の開拓と拡販に取り組みます。
- (4) 成長事業を創出する新たな事業展開に向けた投資案件開拓に取り組みます。

事業夫々の特性を活かした海外事業の拡大や新たな展開を図るための販売拠点設立、業務提携等に関する調査に着手します。

- (5) 資本効率を高め ROE（株主資本利益率）および ROA（総資産利益率）の改善を図ります。
機軸事業の強化と事業領域の拡大および海外事業の積極的展開等により利益の拡大を目指します。
また、売上債権や棚卸資産等の適正管理を強化し資産効率の向上を図ります。



- (6) グローバル化に対応できる人材、将来経営を担う人材の育成強化に取り組みます。
重要戦略のひとつと位置付けている海外ビジネスの拡大に伴い、グローバルに通用する人材の育成を強化します。また、経営環境の変化が大きい中であって、これからの経営を担う人材を計画的に育成します。

以 上